

# 施策目標個票

(国土交通省28-40)

施策目標	北海道総合開発を推進する	
施策目標の概要及び達成すべき目標	北海道の資源・特性を活かして我が国が直面する課題の解決に貢献していくとともに、地域の活力ある発展を図るため、「アジアに輝く北の拠点」、「森と水の豊かな北の大地」、「地域力ある北の広域分散型社会」を戦略的目標として掲げ、多様な主体の連携・協働によって、効果的に「北海道総合開発計画」を推進する。	
評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) ②目標達成 (判断根拠) 業績指標135については、目標を達成し、業績指標136については、平成27年度及び平成28年度のデータは集計中であり最新の平成26年度実績値で評価しているところであるが、これまでのトレンドより目標達成にむけて順調に推移している。
	施策の分析	施策目標の達成手段である北海道開発事業費や北海道開発推進調査費、北方領土隣接地域振興等経費等を効果的に活用し、地域ニーズに沿った事業が展開されるよう一層の重点化を図っている。
	次期目標等への反映の方向性	目標年度は毎年度と設定しており、引き続き施策を推進することにより、目標達成を目指す。なお、平成28年3月29日に第8期の北海道総合開発計画が閣議決定されたことにより、計画を推進していくための新たな目標を設定することとする。

業績指標	135 北海道総合開発計画の着実な推進(対前年度比で進捗が認められる代表指標の項目数)	初期値	実績値					評価	目標値
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		毎年度
		6	8	8	8	7	集計中	A	初期値以上
	年度ごとの目標値		6	6	6	6	6		
業績指標	136 北方領土隣接地域振興指標(一人当たり主要生産額)	初期値	実績値					評価	目標値
		17~24年度の平均	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		毎年度
		3.36百万円/人	3.55	3.79	3.79	集計中	集計中	A	3.36百万円/人以上
	年度ごとの目標値		3.36	3.36	3.36	3.36	3.36		
参考指標	アイヌの伝統等に関する普及啓発活動(講演会の延べ参加者数)	初期値	実績値					評価	目標値
		24年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		29年度
		31,091人	31,091	32,571	34,707	37,211	38,781		39,000
	年度ごとの目標値		31,000	39,000	39,000	39,000	39,000		

施策の予算額・執行額等【参考】	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求額	
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	468,489	473,925	475,759	479,947	
		補正予算(b)	16,717	81,674	95,126	—	
		前年度繰越等(c)	146,722	34,597	88,987	—	
		合計(a+b+c)	631,927<0>	590,197<0>	659,872<0>	479,947<0>	
	執行額(百万円)	594,128	499,346				
	翌年度繰越額(百万円)	34,597	88,987				
	不用額(百万円)	3,202	1,864				

学識経験を有する者の知見の活用	国土交通省政策評価会(平成29年6月23日)
-----------------	------------------------

担当部局名	北海道局	作成責任者名	北海道局参事官室(参事官 高橋 季承)	政策評価実施時期	平成29年8月
-------	------	--------	---------------------	----------	---------

**業績指標 135**

北海道総合開発計画の着実な推進（対前年度比で進捗が認められる代表指標の項目数）\*

評価	
A	目標値：初期値以上（毎年度） 実績値：集計中（平成28年度） 7（平成27年度） 初期値：6（平成23年度）

**（指標の定義）**

第7期北海道総合開発計画（平成20年7月4日閣議決定）で掲げられている3つの戦略的目標の進捗を代表的に示すと考えられる代表指標のうち、対前年度比で進捗が認められる指標の項目数。

**（目標設定の考え方・根拠）**

北海道の開発は、北海道の資源・特性を活かし、地域の発展と国の課題解決に貢献することを目的としており、第7期北海道総合開発計画は、「アジアに輝く北の拠点～開かれた競争力ある北海道の実現」、「森と水の豊かな北の大地～持続可能で美しい北海道の実現」、「地域力ある北の広域分散型社会～多様で個性ある地域から成る北海道の実現」の3つを戦略的目標として掲げ、多様な主体の連携・協働によって、効果的に計画を推進することとしている。

計画の進捗状況は、これらの戦略的目標毎に設定した代表指標の改善状況で示されていると考えられることから、対前年度比で進捗が認められる項目数について、初期値（平成23年度実績値）以上とすることを目標とするものである。

**（外部要因）**

経済情勢、社会状況の変化

**（他の関係主体）**

関係府省庁、地方公共団体

**（重要政策）**

**【施政方針】**

なし

**【閣議決定】**

第8期北海道総合開発計画（平成28年3月29日）

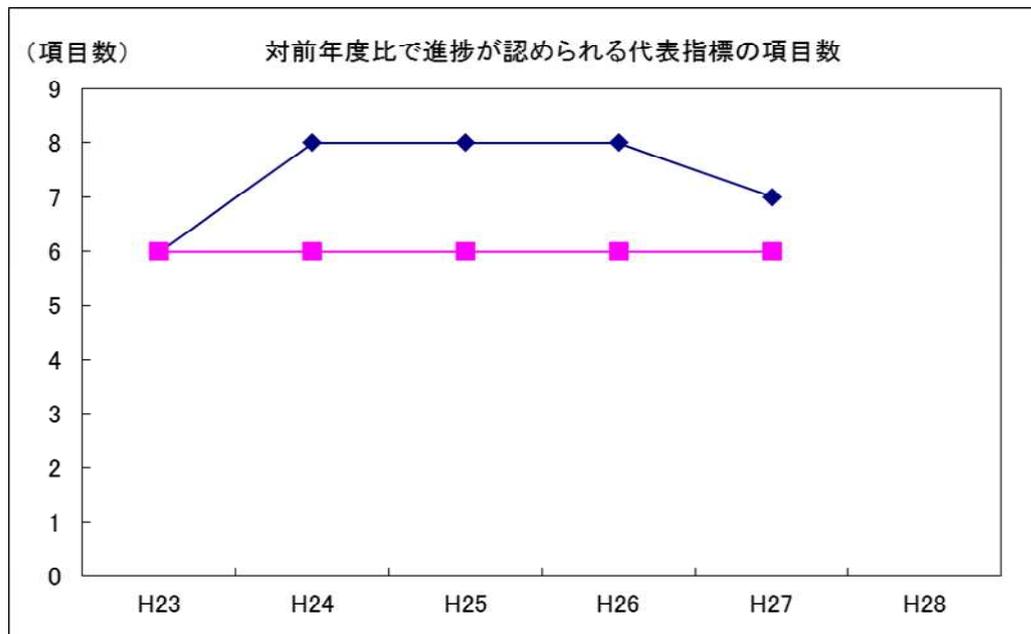
**【閣決（重点）】**

なし

**【その他】**

なし

過去の実績値					（年度）
H24	H25	H26	H27	H28	
8	8	8	7	集計中	



## 主な事務事業等の概要

北海道開発法に基づき策定された北海道総合開発計画（現行計画は平成28年3月29日閣議決定）の具体化に資する施策・事業を展開。

予算額：北海道開発事業費	5,317億円（平成28年度）	5,313億円（平成27年度）
北海道開発計画調査等経費	1億円（同上）	1億円（同上）

※予算額は当初

## 測定・評価結果

### 目標の達成状況に関する分析

#### （指標の動向）

平成27年度までの指標においては、第7期北海道総合開発計画（平成20年7月4日閣議決定）で掲げられている3つの戦略的目標の進捗を代表的に示すと考えられる代表指標（9項目）について進捗状況を測定し、代表指標のうち、2項目を除く7項目で進展が見られ、同指標全体として進捗状況は順調である。

平成28年度以降については、第8期北海道総合開発計画（平成28年3月29日閣議決定）に基づき計画を推進していくことから、新たな指標の検討を行っている。

#### （事務事業等の実施状況）

戦略的目標1 「アジアに輝く北の拠点～開かれた競争力ある北海道の実現」

##### ①食料品輸出額

・進展していると見られる（平成26年の669億円から平成27年は785億円に増加）

##### ②訪日外国人来道者数

・進展していると見られる（平成26年度の1,352,500人から平成27年度は1,848,000人に増加）

##### ③農業基盤整備の事業完了地区における担い手への農地の利用集積率の増加分

・進展していると見られない（平成26年度の7.8%から平成27年度は4.2%に減少）

戦略的目標2 「森と水の豊かな北の大地～持続可能で美しい北海道の実現」

##### ④育成複層林の面積

・進展していると見られる（平成26年度の688,995haから平成27年度は713,425haに増加）

##### ⑤新エネルギーの普及状況

・進展していると見られる（平成26年度の311,934kWから平成27年度は452,297kWに増加）

##### ⑥一般廃棄物のリサイクル率

・進展していると見られない（平成26年度の24.6%から平成27年度は24.3%に減少）

戦略的目標3 「地域力ある北の広域分散型社会～多様で個性ある地域から成る北海道の実現」

##### ⑦新千歳空港の国内線乗降客数

・進展していると見られる（平成26年度の17,717,548人から平成27年度は18,348,794人に増加）

##### ⑧国際会議参加者数

・進展していると見られる（平成26年度の45,220人から平成27年度は58,615人に増加）

##### ⑨体験居住参加者数

・進展していると見られる（平成26年度の2,526人から平成27年度は2,800人に増加）

#### 【代表指標の出典】

①食料品輸出額：函館税関「北海道貿易概況」

②訪日外国人来道者数：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」

③農業基盤整備の事業完了地区における担い手への農地の利用集積率の増加：国土交通省北海道開発局調べ

④育成複層林の面積：「北海道業務資料国有林野事業統計書」

⑤新エネルギーの普及状況：経済産業省資源エネルギー庁調べ

⑥一般廃棄物のリサイクル率：環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

⑦新千歳空港の国内線乗降客数：国土交通省「歴年・年度別空港管理状況調査」

⑧国際会議参加者数：日本政府観光局「国際会議統計」

⑨体験居住参加者数：北海道「北海道体験移住「ちょっと暮らし」実績について」

### 課題の特定と今後の取組みの方向性

平成27年度について、第7期北海道総合開発計画（平成20年7月4日閣議決定）で掲げられている3つの戦略的目標の進捗を代表的に示すと考えられる代表指標について、進捗状況を測定したところ、戦略的目標毎に設定した9項目の代表指標のうち、7項目が進展しており、北海道総合開発計画の着実な推進が見られる。平成28年度においても同様の進捗が見込まれることから、Aと評価した。

今後の取組みの方向性としては、第8期北海道総合開発計画（平成28年3月29日閣議決定）に基づき、北海道開発をめぐる潮流の急激な変化を踏まえ、北海道の優れた資源・特性を活かし、国の課題解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図る。

## 担当課等（担当課長名等）

担当課：北海道局参事官室（参事官 高橋 季承）

関係課：

**業績指標 136**

北方領土隣接地域振興指標（一人当たり主要生産額）\*

**評価**

A

目標値：3.36百万円/人以上（毎年度）  
 実績値：3.79百万円/人（平成26年度）  
 集計中（平成27、28年度）  
 初期値：3.36百万円/人（平成17～24年度の平均）

**（指標の定義）**

一人当たり主要生産額～北方領土隣接地域（根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町）の人口一人当たりの地域の主要産業（農業、漁業、製造業）の生産額。

**（目標設定の考え方・根拠）**

「北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律(昭和57年総理府告示第85号)」及び「北方領土問題等の解決の促進を図るための基本方針(昭和58年総理府告示第13号)」により、北海道知事が策定する「北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に関する計画」に基づき、北方領土隣接地域を安定した地域社会として形成するのに資するために必要な施策を推進している。

本地域の振興及び住民の生活の安定を図るにあたって主要産業の活性化は重要であることから、主要産業の一人あたり生産額が初期値である3.36百万円/人（平成17年度～平成24年度の平均値）を下回らないことを目標とする。

**（外部要因）**

国内の経済動向の変動、農産物生産量、漁獲量、気候の変動

**（他の関係主体）**

地方公共団体

**（重要政策）****【施政方針】**

なし

**【閣議決定】**

第8期北海道総合開発計画（平成28年3月29日）

第4章第1節（3）北方領土隣接地域の安定振興

**【閣決（重点）】**

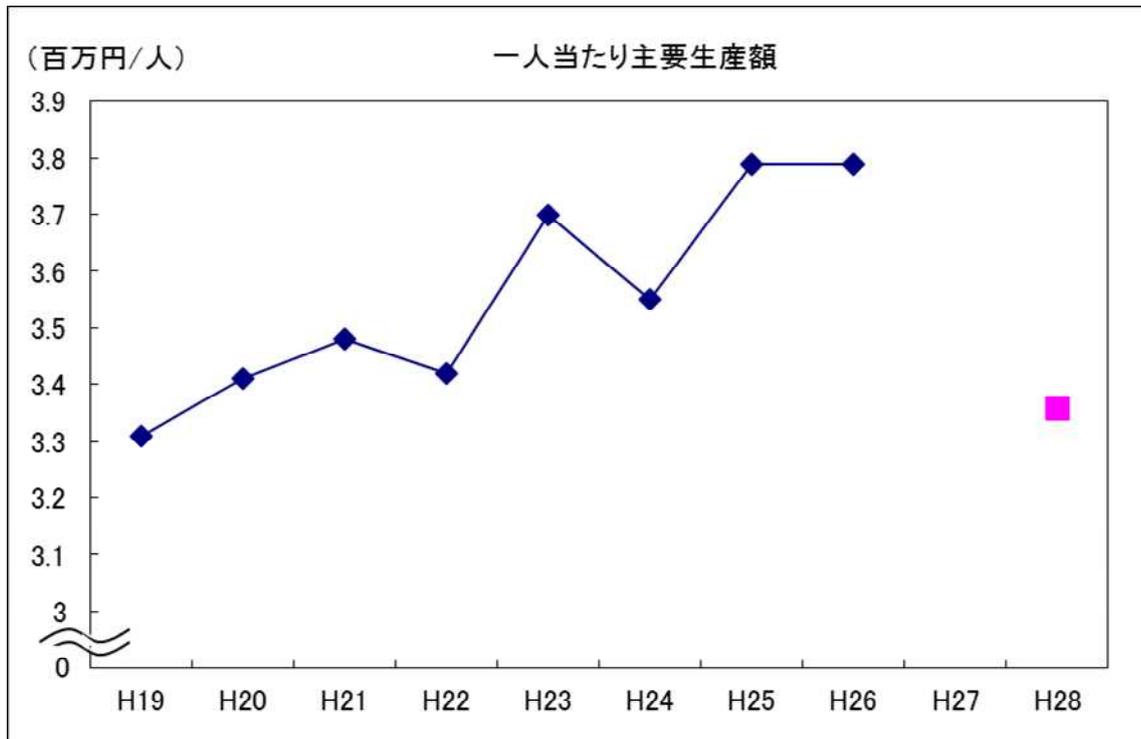
なし

**【その他】**

なし

**過去の実績値****（年度）**

H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
3.31	3.41	3.48	3.42	3.70	3.55	3.79	3.79	集計中	集計中



**主な事務事業等の概要**

北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定を図るため、同地域の「第7期北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に関する計画」(以下、「第7期振興計画」という。)に基づき、隣接地域が実施する、魅力ある地域社会の形成に向けた重点的な取組のうちソフト施策に係る事業に要する経費の一部(2分の1以内)を補助する。  
 予算額：北海道総合開発推進費 北方領土隣接地域振興等事業推進費補助金 1.0億円(平成27年度)  
 (同上) 1.0億円(平成28年度)

**測定・評価結果**

目標の達成状況に関する分析

(指標の動向)

一人当たり主要生産額について、平成27、28年度の実績値は集計中であるが、当該年度において魅力ある地域社会の形成に向けた重点的な取組のうち基幹産業の付加価値向上等に向けた取組(農水産物消費拡大推進事業、農水産物高付加価値化対策事業)といった地域の産業振興に資する事業等を平成28年度4市町(根室市、別海町、中標津町、標津町)で実施したところであり、その執行については順調に終了した。また、平成26年度の実績値は隣接地域全体で3.79百万円/人と目標値を上回っており、平成27、28年度についても事業実施により目標が達成されると推測される。

(事務事業等の実施状況)

平成25年度に新たに策定された「第7期振興計画」に基づき、北方領土隣接地域振興等事業推進費補助金の対象事業の見直しを行い、隣接地域の魅力ある地域社会の形成に向けた重点的な取組のうちソフト施策に係る事業を支援しているところであり、今後も引き続き地域の状況を踏まえつつ、当該施策を実施する必要がある。

課題の特定と今後の取組みの方向性

一人当たり主要生産額については、平成26年度の実績値が目標値を上回り、平成27、28年度についても基幹産業の付加価値向上等に向けた取組等を実施しており、特段の外部要因等もなかったため、目標達成が見込まれる。そのため、Aと評価した。  
 平成29年度以降についても、引き続き隣接地域の安定振興を図る観点から補助金事業として継続する。

**担当課等(担当課長名等)**

担当課：北海道局参事官室(参事官 高橋 季承)  
 関係課：